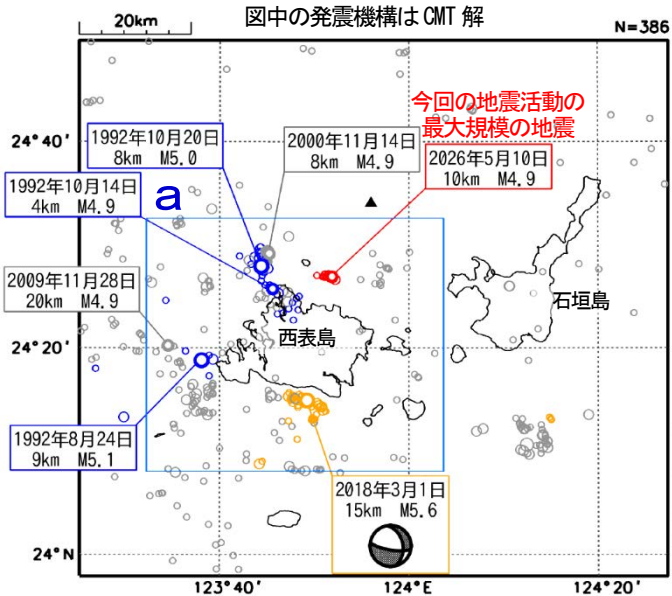


西表島付近の地震活動

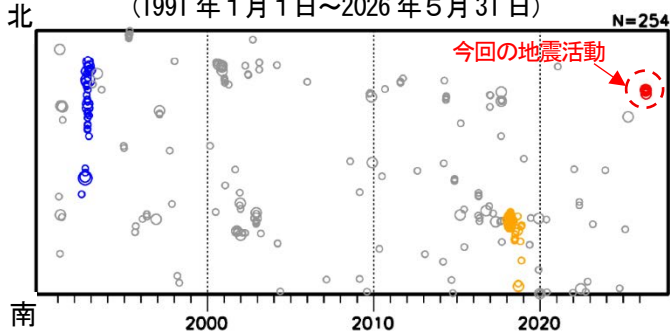
震央分布図

(1991年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～20km、 $M \geq 3.0$)

1992年の地震を青、
2018年2月28日から12月31日までを橙色、
2026年4月10日以降の地震を赤色、
その他の期間の地震を灰色で表示
図中の発震機構はCMT解

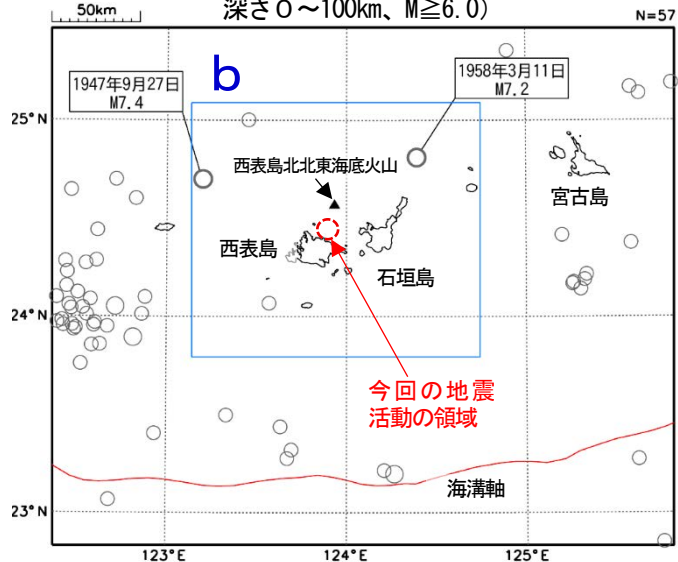


領域 a 内の時空間分布図 (南北投影)
(1991年1月1日～2026年5月31日)



震央分布図

(1919年1月1日～2026年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 6.0$)

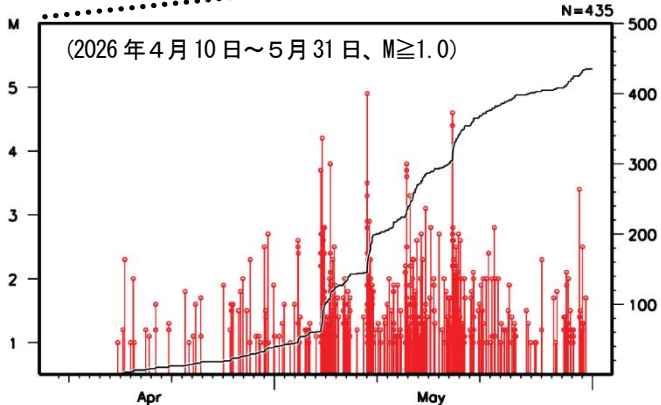
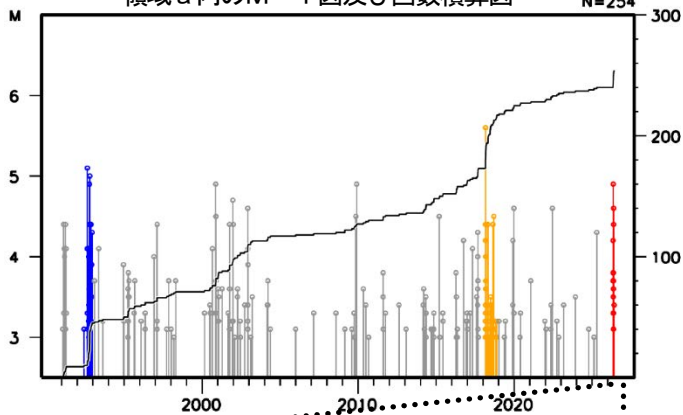


西表島付近では、2026年4月中旬から地震活動がみられ、5月5日から5月31日までに震度1以上を観測する地震が17回（震度3：2回、震度2：7回、震度1：8回）発生した。このうち最大規模の地震は、10日01時18分に発生した $M 4.9$ の地震（最大震度3）であった。これらの地震は陸のプレートの地殻内で発生した。

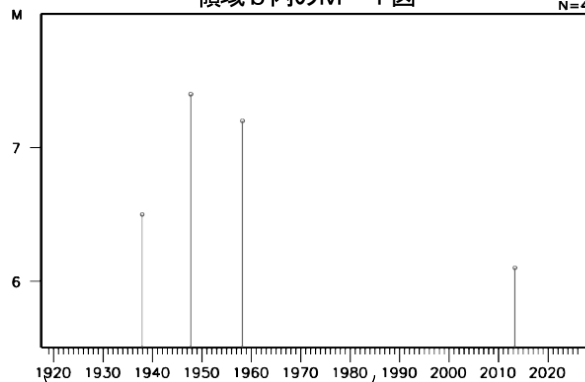
1991年以降の活動をみると、今回の地震活動の周辺（領域a）では、 $M 5$ 程度を最大規模とする地震活動が時々発生している。このうち1992年の活動では、落石や壁の亀裂等の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺（領域b）では、1947年9月27日に $M 7.4$ の地震（最大震度5）が発生し、西表島で死者4人、石垣島で死者1人の被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域 a 内の M-T 図及び回数積算図



領域 b 内の M-T 図



この期間は地震の検知能力が低い